

---

九州運輸局メールマガジン 平成 28 年 11 月 4 日 第 344 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。

次回の発行日は平成 28 年 11 月 17 日（木）となります。

---

## ◆ 目次

### 1 平成 28 年秋の叙勲

・平成 28 年秋の叙勲受章者が発表されました～受章者の皆さま、誠におめでとうございます～

### 2 現場レポート

・平成 28 年自動車及び観光関係功労者九州運輸局長表彰を行いました～196 名・17 社の方々が受賞、表彰式には 123 名・13 社が出席されました～

・平成 28 年度運行管理者表彰を行いました～福岡運輸支局長から表彰状を授与～

・宮崎観光バス有限会社本社営業所が自動車輸送統計調査に係る国土交通省総合政策局情報政策本部長表彰を受賞～宮崎運輸支局にて表彰状を伝達しました～

・自動車ユーザーに点検・整備の重要性をアピール～「第17回自動車まつり」開催～

・長崎県立大学において「物流講座」を開設しました～最新の「物流産業の現状と物流政策」に関する講義を実施～

・もっとクルーズを知って欲しい！～『ぱしふいっく びいなす』でクルーズ旅行の楽しさを紹介～

・大型フェリー船内で「W I B (Work Improvement on board)」講習会を開催！～船員自らが船内のリスクチェック～

・島浦地区漁船安全衛生講習会を開催しました～小型漁船の安全運航に向けて～

・福岡県苅田港で対テロ訓練～行政機関・企業の計 25 団体が参加～

### 3 お知らせ

・貨物自動車の過積載絶滅運動実施中～各県で 10 月、11 月に実施～

・「省エネ促進フォーラム 2016 in 福岡～人と地球にやさしい運輸を目指して～」を開催します

・「平成 28 年度モーダルシフト等推進事業」（補助事業）の二次募集を行っています

・2016 年ものがたり観光行動学会 第 6 回年次大会 九州広域観光シンポジウム「普段使いのローカル線『沿線の日常』が注目される観光の時代」が開催されます

・九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》の「九州の観光掲示板」にはいろんな観光情報がアップされています。

### 4 九州運輸局ホームページアップ情報

・報道発表

・お知らせ

・更新情報

---

## 1 平成 28 年秋の叙勲

◆平成 28 年秋の叙勲受章者が発表されました

～受章者の皆さま、誠におめでとうございます～

昨日 11 月 3 日（文化の日）に、平成 28 年秋の叙勲受章者の発表がありました。  
九州運輸局関係で受章されたのは、次の方々です。  
9 名の受章者の皆さま、誠におめでとうございます。

- ・旭日重光章：長尾 亞夫 氏（元 西日本鉄道株式会社会長）
- ・瑞宝単光章：高井良 邦宏 氏（元 株式会社西鉄ステーションサービスステーション事業本部駅務部二日市管理駅副駅長）
- ・瑞宝単光章：久保田 勲 氏（元 九州旅客鉄道株式会社大分運転所長）
- ・瑞宝単光章：桐野 信幸 氏（元 西日本鉄道株式会社鉄道事業本部施設部貝塚施設係主任）
- ・旭日双光章：漢 二美 氏（大分シティタクシー株式会社代表取締役・一般社団法人大分県タクシー協会会長）
- ・旭日双光章：杉本 功 氏（海事代理士・元 一般社団法人日本海事代理士会九州支部長）
- ・瑞宝双光章：山下 巖 氏（元 長崎掖済会病院院長）
- ・瑞宝双光章：奥野 藤雄 氏（元 九州運輸局交通環境部長）
- ・瑞宝小綬章：有川 彰一 氏（元 九州運輸局船舶部長）

## 2 現場レポート

◆平成 28 年自動車及び観光関係功労者九州運輸局長表彰を行いました  
～196 名・17 社の方々を受賞、表彰式には 123 名・13 社が出席されました～

◎九州運輸局では、自動車及び観光関係の各分野にて、長年にわたり顕著な功績や他の模範として推奨すべき業績をあげられた方々を表彰しました。

### ◇概要

- ・10 月 20 日（木）、西鉄グランドホテル（福岡市）にて表彰式を執り行い、出席された自動車及び観光関係功労者 123 名、13 社に対し表彰状を授与。
- ・受賞者内訳は次のとおり  
[自動車関係] 団体役員部門 8 名、事業役員部門 49 名、従業員部門 80 名、運転者部門 26 名  
[整備関係] 整備士 18 名、環境指向型事業場 17 社  
[無保険者指導員] 1 名  
[観光関係] 女将部門 1 名、従業員部門 13 名

### ◇式典内容

- ・開式の辞
- ・式辞（佐々木 良・九州運輸局長）
- ・表彰状授与（九州運輸局長から各部門受賞者の代表 10 名の方々へ表彰状を授与）
- ・来賓祝辞（倉富純男・九州バス協会会長）
- ・来賓祝辞（鶴田浩一郎・日本旅館協会九州支部連合会会長）
- ・受賞者代表謝辞（青木 建・大分県トラック協会会長）
- ・受賞者代表謝辞（馬渡輝子・有限会社小浜「春陽館」女将）

※受賞者名簿はこちらの URL からご覧になれます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_344\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_344_1.pdf)

### ◇九州運輸局からのメッセージ

・多年にわたり自動車関係や観光関係事業で業界の発展に寄与された皆さまや、職務に精励された皆さま、今回の九州運輸局長表彰の受賞、誠におめでとうございます。これまでのご努力とご精励に敬意を払いますとともに、今後一層のご活躍をお願いいたします。

◇表彰式の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_344\\_13.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_344_13.pdf)

---

◆平成 28 年度運行管理者表彰を行いました  
～福岡運輸支局長から表彰状を授与～

◎福岡運輸支局では、自動車運送事業の運行管理者について、運行管理業務において優良であると認められる者を表彰することにより、自動車運送事業の輸送の安全の確保を目指しており、この度受賞者 1 名を表彰しました。

◇ 概要

・10 月 19 日、福岡運輸支局会議室（福岡市東区）、「平成 28 年度運行管理者表彰式」を行い、運行管理業務が優良であった運行管理者 1 名を平成 28 年 10 月 19 日付けで表彰

◇ 内容

・表彰者：西 正博・九州運輸局福岡運輸支局長  
・受賞者：角 征一郎 氏（運行管理者：南福岡観光株式会社（貸切バス））

◇ 福岡運輸支局からのメッセージ

・平素より運行管理業務に努力、精進されてきた受賞者の方に心より感謝いたします。今後も他の模範となり、運行管理業務により一層努められることを期待します。福岡運輸支局は、運行管理業務の徹底を推進することにより、自動車運送事業の輸送の安全の確保を目指していきます。

◇表彰式の写真は九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_344\\_3.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_344_3.pdf)

---

◆宮崎観光バス有限会社本社営業所が自動車輸送統計調査に係る国土交通省総合政策局情報政策本部長表彰を受賞  
～宮崎運輸支局にて表彰状を伝達しました～

◎宮崎運輸支局では、バス関係の自動車輸送統計調査に尽力した宮崎観光バス有限会社本社営業所に対して、国土交通省総合政策局情報政策本部長表彰状の伝達を行いました。

◇概要

・国土交通省では、自動車輸送統計調査において、報告義務を遂行し、その成績が顕著である事業所に対し、10月27日付けで総合政策局情報政策本部長表彰を実施。  
・11月2日（水）、宮崎運輸支局会議室（宮崎市）にて、今回受賞した宮崎観光バス

有限会社本社営業所への表彰状伝達式を開催。

◇内容

- ・表彰者：竹田浩三・国土交通省総合政策局情報政策本部長
- ・表彰状伝達者：須藤正智・宮崎運輸支局長
- ・受賞者：宮崎観光バス有限会社本社営業所（受領者：坂下忠雄・宮崎観光バス有限会社統括部長）

◇九州運輸局からのメッセージ

・自動車輸送統計調査は、国内で輸送活動を行う自動車を対象に、その輸送量、走行量等を把握することにより、自動車輸送の実態を明らかにし、我が国の経済政策及び交通政策等を策定するための基礎資料にすることを目的として実施しているところです。

・今後とも、自動車輸送統計調査の重要性に対する関心と理解を深めていただき、迅速で正確な報告について一層努められることを期待するとともに、報告された情報を活用し、各種政策の基礎資料として役立てていきます。

◇伝達式の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_344\\_4.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_344_4.pdf)

---

◆自動車ユーザーに点検・整備の重要性をアピール

～「第17回自動車まつり」開催～

◎毎年10月に熊本運輸支局構内で開催されている（一社）熊本県自動車整備振興会主催による「自動車まつり」が、今年も10月15日（土）に開催されました。

◇概要

・この自動車まつりは、自動車整備振興会を中心として、県内の自動車に関係する多くの機関や団体等の協力のもと、様々なイベントを通じて、自動車ユーザーの保守管理意識・交通安全意識の高揚を図り、確実な点検・整備の励行につなげることを目的に開催。

・自動車まつりとしては九州管内随一の規模を誇り、平成12年に始まり今年で17回目の開催。

◇内容

・多くの自動車ユーザーと子供たちに自動車の点検・整備の重要性を楽しみながら学べるイベントを数多く実施。

[主なイベント]ディーラー・自動車整備士による点検教室、熊本運輸支局や軽自動車検査協会による自動車登録・整備相談、検査場見学、テレビ放映されている大人気キャラクターショー等

◇熊本運輸支局からのメッセージ

近年、若年層の車離れが特に進んでいますが、そのような方に少しでも車に興味を持っていただけるようなイベントも数多く行われました。また、このイベントを通じて、安全安心な車利用を促進するためには、自動車の点検・整備に対するユーザーの意識高揚を図ることが重要であり、自動車まつりが、その貢献に寄与していることをあらためて実感したところです。

◇自動車まつりの模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧下さい。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_344\\_14.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_344_14.pdf)

---

◆長崎県立大学において「物流講座」を開設しました  
～最新の「物流産業の現状と物流政策」に関する講義を実施～

◎九州運輸局では、長崎県立大学経営学部国際経営学科・山本教授の協力を得て、同大学の学生を対象に「物流講座」を開設しました。

◇概要

・10月17日(月)、長崎県立大学(長崎県佐世保市)にて、九州運輸局環境・物流課職員から、経営学部国際経営学科の学生約50名に対し、「物流産業の現状と物流政策」に関する物流講義を実施。

◇内容

・「物流」は、我が国の産業の持続的な成長と豊かな国民生活を支えていくためには必要不可欠な産業であり、その役割は今後ますます重要になる一方で、少子高齢化に伴う労働力不足や二酸化炭素排出量の削減など環境対策が差し迫った大きな課題となっている現状を説明したうえで、国土交通省では、そうした課題の軽減、解消に向けてモーダルシフトや路線バスを利用した貨客混載、過疎地における持続的な物流維持などの取り組みについて、身近な事例を具体的にあげながら、物流の効率化、省力化に向けた政策を紹介。

・また、日本の優れた宅配サービスを活用した「手ぶら観光」の取り組みや、本年4月に発生した熊本地震における支援物資の円滑な輸送を確保するための対応などについても紹介。

◇九州運輸局からのメッセージ

・受講した学生からは「物流は、これまではモノの流れというくらいの認識しかなかったが、重要な役割を担う産業であることがわかり、イメージが大きく変わった」「一口に物流といっても様々な形態や種類が存在し、そこに働く就業者も多く、日本の経済を支えている必要不可欠な産業であることがわかった」「今まで物流は自分にあまり関係ないという考えをもっていたが、「手ぶら観光」など自分の身近なところにも物流が関係しているということで親近感をもつことができた」といった感想が数多く寄せられ、「物流」の重要性や役割を理解していただくことで、より身近に感じていただくことができたと思っています。

・今後も、便利で優しく、また人手不足にも負けない効率的な物流の実現を目指して、さまざまな物流政策を行っていきます。

◇物流講座の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_344\\_6.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_344_6.pdf)

---

◆もっとクルーズを知って欲しい！

～『ぱしふいっく びいなす』でクルーズ旅行の楽しさを紹介～

◎九州クルーズ振興協議会（会長：竹島和幸・西日本鉄道株式会社代表取締役会長、事務局：九州運輸局）は、10月27日に博多港中央ふ頭に停泊中のクルーズ船『ぱしふいっく びいなす』の船内で市民向けクルーズセミナー&船内見学会を実施しました。

#### ◇概要

- ・10月27日、参加者は53人。福岡市の市政だよりで、市在住又は市内の会社、学校に通勤、通学される方を対象に公募。
- ・メインラウンジで行われたクルーズセミナーのあと、4班に分かれた参加者は、船内を約1時間見学。
- ・共催：福岡市／協力：日本クルーズ客船株式会社

#### ◇内容

##### 【クルーズセミナー】

- ・クルーズマスターとしての資格を持つ高木あづみ氏（西鉄旅行株式会社）が「クルーズ旅行の楽しさ」と題して講演。
- ・ドレスコードや船の揺れなどクルーズに対する不安を分かりやすく解消。盛りだくさんの船内イベントを楽しんでいる間に寄港地に到着する、他の旅行にはないクルーズならではの楽しさを紹介。

##### 【船内見学】

- ・ロイヤルスイートルーム、ルーレットやカードゲームが楽しめるトップラウンジなど非日常の空間を演出する施設を、船内スタッフがアテンド。

#### ◇九州運輸局からのメッセージ

- ・2015年の博多港のクルーズ船寄港回数は259回。これまで1位を続けてきた横浜港を初めて抜いて全国一となりました。急激なクルーズ人口の伸びを見せる中国からのクルーズ船が寄港回数のおよそ大半を占めています。一方、2015年の我が国のクルーズ人口は4年連続の20万人台となったものの、まだまだ伸び悩んでいるのが現状です。これは、クルーズ旅行に対する私たちの「高価な旅行」、「長期休暇が必要」、「退屈しそう」といった意識が、クルーズ旅行を遠ざけているのではないのでしょうか。
- ・今回のようなイベントを開催することにより、もっと気軽に楽しめるクルーズ旅行の魅力を伝えていきたいと思っております。

◇クルーズセミナー&船内見学会の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_344\\_7.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_344_7.pdf)

---

◆大型フェリー船内で「WIB (Work Improvement on board)」講習会を開催！  
～船員自らが船内のリスクチェック～

◎九州運輸局鹿児島運輸支局では、鹿児島県旅客船協会及び鹿児島内航海運組合と連携し、「船内向け自主改善活動指導員養成講習会(WIB:Work Improvement on board)」を開催しました。

#### ◇概要

- ・10月14日（金）、マルエーフェリー株式会社の協力を得て、鹿児島新港停泊中の「フェリー波之上（8,072トン）」船内において、「船内向け自主改善活動指導員養成講習会」を開催しました。

成講習会（WIB：Work Improvement on board）」を開催。座学と実技の講習に鹿児島県旅客船協会及び鹿児島内航海運組合加入の乗組員 42 名、陸上職員（運航管理部門）9 名の合計 51 名が参加。

#### ◇内容

- ・高崎経済大学経済学部 久宗周二教授による WIB の基本的な考え方や具体的な進め方、改善事例の紹介等による講義。
- ・各班に分かれて船内作業チェックリストを基に、甲板部、機関部等の船内チェックを実施。
- ・各班から発表された問題点、改善点等について、久宗教授から講評を受け、参加者全員で情報を共有し、安全に対する意識の向上を図った。
- ・実施後のアンケートでは、「役に立った」「実践的」「自分の会社においてもこの講習で学んだ手法を取り入れていきたい」と前向きな意見が多数寄せられました。

#### ◇鹿児島運輸支局からのメッセージ

- ・船員の死傷災害は陸上の労働災害に比べて依然高い発生率となっています。船員自らが自分たちの職場を安全なものとするため、“より簡単”で“より有効”な自主改善活動を行うことは、船員災害の減少に最も有効な方法であると考えます。
- ・船員一人一人の安全に対する意識の向上及び船員災害防止対策について一層の推進を図り、船員の労働災害減少に向けて今後も継続して取組を進めることとします。

◇講習会の模様は、九州運輸局フォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_344\\_8.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_344_8.pdf)

---

#### ◆島浦地区漁船安全衛生講習会を開催しました

～小型漁船の安全運航に向けて～

◎宮崎運輸支局では漁船の事故減少に向けた取組みとして、日向海上保安署、宮崎地方气象台、宮崎県漁船保険組合と連携して、安全衛生講習会を開催しました。

#### ◇概要

- ・10月27日、島浦町漁業協同組合 2 階会議室（宮崎県延岡市）、同漁業組合員 25 人が参加

#### ◇講習内容

##### ①「海難事故を防ぐために～てげてげ運航の追放～」

- ・日向海上保安署海上保安官 2 名が救命胴衣を実際に着用し、過去の事故事例を説明するなど安全運航の確保と救命衣着用の必要性をアピール。

##### ②「竜巻のはなし」

- ・宮崎地方气象台から、竜巻発生メカニズムとスマートフォン等の携帯端末を通じた気象情報（ナウキャスト）提供について説明。

##### ③「漁船保険から見た海難事故について」

- ・宮崎県漁船保険組合から、漁船に関する多種多様な事故事例を紹介。
- ・特に「裏漕ぎ」（揚げ網中の船のバランスを保つ作業）中の漁船から伸びたロープを外国籍の大型貨物船が巻き込み、あわや大事故になりかけた事例紹介では参加者からどよめきが漏れるなど関心の大きさが窺えました。

##### ④「船員の災害防止について」

- ・宮崎運輸支局から、ヒューマンエラーに関連し「人間の機能特性」を知るために、錯覚（錯視）の例を紹介。
- ・会場内からは「見えない」「いや見えた」の声とともに笑い声も聞こえるなど、参加者に関心をもって臨んでもらえました。

#### ◇宮崎運輸支局からのメッセージ

宮崎県は九州でも有数の漁業県であることから、今後も関係機関と連携し、漁船の海難や災害の未然防止のための取組を実施していきます。

◇講習会の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_344\\_15.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_344_15.pdf)

---

#### ◆福岡県苅田港で対テロ訓練

～行政機関・企業の計 25 団体が参加～

◎福岡運輸支局は、苅田港危機管理コアメンバーとしてテロ対策総合訓練に参加しました。

#### ◇概要

・11月1日(火)、福岡県苅田港、福岡運輸支局、苅田海上保安署、行橋警察署、苅田町消防本部など水際危機管理の行政機関と地元企業の計 25 団体によるテロ対策総合訓練が行われ、116人が参加。

#### ◇内容

- ・訓練は、官民相互連携を深め危機管理体制の充実を図ることを目的に、毎年実施。
- ・今回は入港した外国船に乗組員に扮したテロリストが乗船しているとの情報を港湾危機管理担当官（行橋警察署長）が入手したとの想定。
- ・本番さながらの緊張感の中で①苅田港危機管理コアメンバーの招集②海上や埠頭の警戒配置③外国船への合同立入検査④武装テロリストの制圧・逮捕⑤負傷者搬送・消火活動などを実施。

#### ◇九州運輸局からのメッセージ

・今後、国内では国際的なスポーツ大会等が控えており、テロの水際阻止に向けて、各関係機関との連携強化や迅速な情報共有の徹底を図っていきます。

◇訓練の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_344\\_10.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_344_10.pdf)

---

### 3 お知らせ

#### ◆貨物自動車の過積載絶滅運動実施中

～各県で10月、11月に実施～

各県の運輸支局やトラック協会、自家用自動車協会、自治体、国の機関等で構成する貨物自動車過積載防止対策連絡会議では、重大事故や道路・橋梁の損傷を招く過



積載運行の絶滅に向けて、「広報啓発活動」や「街頭取締り」「荷主団体への協力要請」等、様々な取組を実施しています。また、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県の連絡会議は10月を、福岡県、大分県、宮崎県の連絡会議は11月を「過積載絶滅運動月間」等と定め、荷主、運送事業者の皆さまと関係機関が力を合わせ、過積載の絶滅に向けた運動を実施しています。

各県の貨物自動車過積載防止対策連絡会議作成のリーフレットは、こちらの URL からご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_344\\_11.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_344_11.pdf)

---

◆「省エネ促進フォーラム 2016 in 福岡～人と地球にやさしい運輸を目指して～」を開催します

九州運輸局では、地球温暖化問題の理解を深め、人と地球にやさしい運輸を目指すために、種々の取組情報を共有し、今後の省エネルギー対策の参考としていただくことを目的として、例年「省エネ促進フォーラム」を開催しています。

今年度は11月11日（金）、福岡市で「省エネ促進フォーラム 2016 in 福岡」を開催します。

フォーラムでは九州工業大学の西名誉教授による基調講演や、省エネ対策の取組事例紹介を行うとともに、運輸部門での環境保全の活動に著しい功績のあった事業者等を顕彰する「九州運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰」（環境保全部門）の表彰式も行う予定です。

どなたでも参加できますので、多数のお申し込みをお待ちしております。

なお、お申し込みは下記 URL より所定の申込用紙をダウンロードして事務局までファックスをお願いします。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_343\\_9.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_343_9.pdf)

---

◆「平成 28 年度モーダルシフト等推進事業」（補助事業）の二次募集を行っています

募集の対象は、「総合効率化計画策定事業」、「モーダルシフト推進事業」及び「幹線輸送集約化推進事業」です。

なお、「モーダルシフト推進事業」及び「幹線輸送集約化推進事業」の補助を受けるにあたっては、物流総合効率化法に基づいた計画認定が必要となります。

【総合効率化計画策定事業】流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律（平成17年法律第85号）第4条第1項に規定する総合効率化計画の策定のための調査事業。

【モーダルシフト推進事業】貨物自動車による陸上輸送から、幹線部分を鉄道輸送又は船舶を利用した海上輸送へ転換すること等により、CO<sub>2</sub> 排出量の削減を図ることを目的として実施する事業。

【幹線輸送集約化推進事業】発荷主から着荷主までの輸送距離が概ね 30 km 以上ある貨物自動車による輸送において、複数荷主の貨物を集約し、積載率を向上させ走行車両台数及び CO<sub>2</sub> 排出量の削減を図ることを目的として実施する事業。

応募期間は平成 28 年 10 月 26 日（水）～12 月 9 日（金）、補助対象事業者の認定は 12

月末以降となっています。

交付要綱等、詳細については国土交通省ホームページからご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu\\_freight\\_tk1\\_00094.html](http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu_freight_tk1_00094.html)

モーダルシフトや物流についてのご相談は、九州運輸局交通政策部 環境・物流課  
(電話 092-472-3154)までお気軽にお問い合わせください。

---

◆2016年ものがたり観光行動学会 第6回年次大会 九州広域観光シンポジウム「普段使いのローカル線『沿線の日常』が注目される観光の時代」が開催されます

JR豊肥線は大分市～熊本市を結ぶ都市間交通の役割を持つとともに、大分県においては竹田市と大分市の間を結ぶローカル鉄道としての機能を持っていましたが、4月の熊本地震により、現在も熊本県の一部地域が不通となっております。このような現状を踏まえ、「普段使いのローカル線『沿線の日常』が注目される観光の時代」をテーマに、JR豊肥線沿線の観光価値を再検証し、九州全体をゆったり移動する観光スタイルが潮流となる可能性を考えるシンポジウムが開催されますので、お知らせします。

- ・日時：2016年11月19日(土) 12:30～
- ・会場：大分銀行 宗麟館2F (JR大分駅・上野の森口・南に徒歩3分)
- ・参加申込先：日本文理大学 COC 事務局
- ・申込み方法：ネット申込(専用サイト) <http://coc-nbu.jp/monogatar-i-kanko>、  
電話受付 097-524-2663 (平日 9:00～17:00)
- ・詳しくはこちらのリーフレットをご覧ください。  
[http://monogatar-i-kanko.org/pdf/20160809\\_reaflet.pdf](http://monogatar-i-kanko.org/pdf/20160809_reaflet.pdf)

---

◆九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》の「九州の観光掲示板」にはいろんな観光情報がアップされています。

こちらの URL からどうぞ。

<http://www.welcomekyushu.jp/kyushufukkou/informations/?url=informations>

---

—— 4 九州運輸局ホームページアップ情報 ——

--- 報道発表 -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 -----

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

////////編集部だより ///  
秋の気配もずいぶん深まってきたようです。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋、そして行楽の秋です。九州各地へ足を運んでみませんか？九州ふっこう割の第2期も好評で、残りもわずかのようです。お知らせサイトはこちらから。

